

広 飛騨の森の未来へ 広葉樹の活用方法を学ぶ

3月20日（月） 総合会館

飛騨市広葉樹のまちづくりシンポジウム実行委員会は3月20日、「飛騨の森と生きる。その未来へ。飛騨市広葉樹のまちづくりシンポジウム」を古川町公民館で開きました。

このシンポジウムは、飛騨市が誇る豊かな広葉樹の森を持続可能な資源としてまちづくりに活用し、広葉樹のまちづくりを推進しようといわれ、会場では広葉樹などを使った体験プログラムも行われました。

シンポジウムでは、NPO法人森は海の恋人理事長の畠山重篤さんによる基調講演や広葉樹に関する事例紹介、森とまちづくえいについて語る市民ワイワイ会議などが行われました。



ワイワイ会議の様子

下 魅力ある授業作りが評価される 嶋先生(神岡中)に文部科学大臣表彰

3月10日（金） 市長室

平成28年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞した神岡中学校の下嶋健児教諭が市長に報告を行いました。

この表彰は、学習指導や生徒指導、部活指導などにおいて、特に顕著な成果をあげた方に送られるものです。社会科を担当する下嶋教諭は各地で取材した資料などを使い、子ども達をひきつける授業を行っています。

下嶋教諭は「資料を使い子ども達の知的好奇心を引き出し、学び方や調べ方などを重点的に教えることで、学びを深め、自信や充実感につながるよう意識している。今後もさらに魅力ある授業作りに取り組みたい」と話していました。



賞状を手にする下嶋先生(左から2人目)

高 ドリコミュが飛騨神岡高校でも開催 高校生らが地域の大人と語り合う

3月21日（火） 神岡町ふれあいセンター

自身の経験や夢、目標などを語り合うドリコミュ（ドリームコミュニティ）が神岡町ふれあいセンターで開かれました。ドリコミュはメンタルコーチの関口祐太さんが昨年1月から毎月1回行っている取り組みで、2月には吉城高校でも開催されました。

今回は飛騨神岡高校生と地域の大人が語り合うワークショップ「カミコミュ」として、高校生や地域住民などが参加しました。会場では、参加者がこの1カ月の生活を振り返り、互いの目標や考えていることなど様々な思いを共有しました。また、次の1カ月どう過ごすかを考え、参加者で共有しました。



笑顔で語り合う参加者

特 さらにPRにつなげる 特産品に10商品が認定

3月10日（金） 市役所

飛騨市推奨特産品認定証交付式が市役所で行われ、味噌、煎餅や日本酒など市内事業者の10商品が認定されました。

「飛騨市推奨特産品」認定制度は、市内の特産品をより広くPRするため今年度創設された制度です。認定された商品は組木をイメージしたロゴシールを貼り付けし、差別化を図っていきます。また、各地で行われる市の販売プロモーションに出品する予定です。

審査委員長を務めた岐阜県名産販売(株)の加藤徹社長は「それぞれにこだわりや特長があり、素晴らしい商品ばかりだった。今日を第一歩として今後も頑張ってください」と話していました。



認定証が交付された事業者の皆さん



美 喜びを市長に報告 ら地球が県内初の受賞

3月28日（火） 市長室

（株）美ら地球が「はばたく中小企業・小規模事業者 300社」を受賞したことを受け、市長に報告を行いました。

この賞は中小企業庁が選出し、地域貢献や地域経済の活性化、独自の技術やサービスで伸びる取り組みを行うなど様々な分野で活躍する中小企業・小規模事業者に送られるものです。サービス企業として、県内初の受賞となります。

同社代表取締役の山田拓さんは「里山エクスペリエンスなどのサービスだけでなく、企業として評価を受けたことが嬉しい。地域の皆さんに感謝し、今後のサービスにつながれば」と話していました。



賞状などを手にする同社の社員ら

木 木育の推進を目指す 育ひろばが常設

3月24日（金） 古川子育て支援センター

木にふれあい、親しみ、関心を持ち、学んでいくことのできる場所として、県産材を活用した木のおもちゃを設置した木育ひろばが古川子育て支援センターに設置されました。

3月24日には開設式が行われ、子ども達による除幕式が行われた後、訪れた親子は8種類の木のおもちゃで思い思いに遊び、木の温もりにふれました。

市民児童課の野村賢一課長は「広葉樹のまちづくりを進める飛騨市や岐阜県ならではの取り組み。末永く皆さんに愛される広場になってほしい」と話していました。



木のおもちゃで遊ぶ親子ら

長 森田コヨさん100歳長寿者褒賞 寿をお祝い

3月28日（火） 古川町

古川町上気多の森田コヨさんが100歳を迎えられました。都竹市長が「100歳おめでとうございます。森田さんのお元氣な姿を見るとこちらも元氣になります。これからも楽しみながら長生きしてください」と声をかけながらお祝いと花束を渡しました。

森田さんは草むしりをしたり、散歩をしたりと毎日元気に過ごされています。森田さんは「好き嫌いが無く、特に魚が大好き。健康の秘訣はおおらかでいること」と話していました。



神 地域経済の更なる発展へ 岡商工会議所が移転し開設

3月24日（金） 神岡町

神岡商工会議所が旧神岡町図書館に移転し改修工事が完了したことを受け、新会館のお披露目や祝賀会が行われました。

祝賀会では、牛丸欣吾会頭や都竹市長らがテープカットを行い工事完了を祝いました。

牛丸会頭は「独立した場所を持たれたことを嬉しく思う。皆さんとともに、今後何十年も続く会議所を目指していきたい」とあいさつしました。

都竹市長は「神岡経済界の城ができあがった。ここを拠点として、集い、経済や産業が発展することを期待しています」を言葉と贈りました。



テープカットを行う関係者